



課題を乗り越えて
生きる力に

作業します。また、肩関節を使っ
て腕を少し開閉したり、ゆっくり
とした肘の曲げ伸ばしは可能なの
で、創作活動でも、自具のハサ
ミを使って紙を切る練習を並行し
ながら、手を自分でコントロール
する経験を重ねていきました。そ
こで、「押しつけながら横に引っ
張る」「1・2・3のリズムに合
わせて」肘を曲げる・待つ・伸ば
す」など、本人にとってわかりや
すい説明をしながら作業や活動に
とりくんできました。

ひとつの動作ができるようにな
ると、「オーイー」と周囲の職員
を呼んで褒めてもらおうと、必死
に猛アピール。ニヤリと照れるそ
の笑顔は、手心えを感じて（次も
がんばってみるか!）と自分を励
ますやる気に満ちています。

小さな課題から始め、一つずつ
達成感を積み重ねていくなかで、
気がつくとき口を使った作業を卒業
することができたのです。

洋介さんが作業室へ向かう前に
は、手を動かしやすくなるよう
に、両腕の可動域を確認しなが
ら、肘の曲げ伸ばし練習をして
らうようにしました。すると、作
業に向かう本人の「やる気スイッ
チ」が入るようになったのです。

また、一回の作業時間を45分か
ら30分に短縮したり、昼食後に
は、訓練室でPTによるストレッチ
チを受けてリラックスしてから、
そのまま作業室に向かうようにし
ました。楽しみたいという気持ち
を抑え、スムーズに気持ちを作業
に向けることができるのです。ま
た、そうすることで、トイレの訴
えなどで、作業室から戻ってきて
しまうこともほとんどなくなりま
した。本人の課題に合わせて、作
業環境を工夫することの大切さを
再確認しました。

さらに、洋介さんの発達段階に
合わせ、作業のがんばりが目に見
えてわかりやすい形として「がん
ばったでしょうハンコ」のとりく
みも実施。時間いっぱい集中でき
たら、作業グループの担当職員か

らハンコがもらえます。それを朝
礼でみんなに報告し、より多くの
人に褒めてもらえることが、彼の
モチベーションにつながりました。

次に、そのハンコが貯まった
ら「好きな女性職員とティータイ
ム!」というゴールも設定。「今
日はデートかい?」とまわりにい
じられつつも、とてもうれしそ
うな洋介さん。短期間で見通しがも
ちやすく、みんなとのコミュニケ
ーションも深まり、励みになる目
標ができたことで、集中できる日
が増えました。

集団の中でがんばりが認めら
れ、しっかりと達成感を得られる
ようになり、自信をつけたこと
で、彼は時間いっぱい作業をやり
遂げられるようになりました。そ
して、約5年続けてきたそのハン
コのとりくみも、ついに必要な
いものになったのです。

朝礼でみんなにそのことを報告
し、拍手喝采を受けて大喜びの洋
介さん。次なる目標は、以前のよ
うにみんなと一緒の席でも集中し
て作業にとりくむことです。

北の大地の仲間たち

2019



第5回 障害の重い仲間こそ集団での労働が必要

あかしあ労働福祉センター第1作業所
主任生活支援員

藤中大気

ムードメーカーの
洋介さん

わたしたちの作業所（生活介護
事業所）では、創作活動やレクリ
エーション等の「活動」と「機能
訓練」、そして「作業」を日課の
中心的な柱に位置づけています。
利用する障害のある仲間の年齢
層は、20代後半から30代後半と幅
が狭く、学校時代の「同級生」同
士もかなりいて、発達年齢もおよ
そ2〜4歳と共通項が多く、とて
も楽しい集団です。

そんな仲間たちのなかで、年長
者として存在感を発揮しているの
が洋介さん（37）。脳症後遺症に
よる体幹機能障害・座位不能・四
肢麻痺・てんかん発作を主たる障
害とし、自由に動かせる口を使っ
て作業や活動に参加してきました。
彼は、自具を口にくわえて細
かな操作もできますし、絵筆をく
わえれば繊細なタッチで画用紙に
色を重ねていくこともできます。
いきいきと描くその姿は、まさに
「画伯」と呼ぶのがピッタリ。

そんな洋介さんは、初対面の相
手でも元氣いっぱい自分からあ
いさつし、どんな人とも仲良く
なりたいとアピールするムードメ
ーカーです。

口から手の作業へ

10年ほど前から、わたしたちは
洋介さんの歯や顎の負担軽減と、
「もつと作業や生活の幅をひろげ
ていってほしい」というねがいの
込めて、口から手に作業を切り替
え始めました。

当初、洋介さんは自具を使
い、口で作業をしたがったり、口
が自由になることで、周囲の人を
大きな声で呼んだり、トイレの訴
えが多くなったりと、明らかに自
己葛藤している様子でした。

そこで、作業の支援を担当する
職員を柔軟に交代したり、作業室
での位置を変更し、集中しやすい
ように視覚的な情報を限定したり
と、洋介さんに合わせて作業環境
を少しずつ見直しました。

洋介さんは、拘縮のため手首か
ら先が動かせず、手の甲を中心に